OWNER'S MANUAL

ハイ・インピーダンス・スピーカーシステム

111TR

111TR 取扱説明書

**この度は111TRをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。**

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

 △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

 ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

- ●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
- ●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
- ●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
- ●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
- ●＜本製品＞を分解したり改造ないでください。破損や火災の原因となります。
- ●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。
- ●この製品は、一般屋内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。
  - ・振動や衝撃の影響を受けるところ
  - ・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ
  - ・サウナ風呂などの温度が高くなるところ
  - ・湿度の高いところ
  - ・車や船舶やその他のりもの
- ●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。

注意

- ●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
- ●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。
- ●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

目　次

特　長

●マッチングトランス内蔵ハイ・インピーダンス・スピーカーシステム

●取り付けの楽な天井埋め込みスピーカー111CL-IIIに定電圧伝送用マッチングトランスを内蔵させました。

●ロータリースイッチによるインピーダンス切換

●インピーダンスを切り換えるためのロータリースイッチを採用することにより簡単にスピーカーの入力インピーダンスを切り換えることができます。

●自然な音を再生するパッシブ･イコライザーを内蔵

●どんなレベルの音も自然に再生するためのパッシブ･イコライザーを内蔵しています。

●手入れの楽なパンチングメタルグリルを採用

●ドライバーを保護するためのグリルに、耐久性が高く、お手入れの楽なパンチングメタルを採用しました。

スピーカーの防磁について（ブラウン管方式のテレビをお使いの場合）

このスピーカーは、防磁処理は施されていませんので、ブラウン管方式のテレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

開梱に際してのご注意とお願い

●カートンからとりだす際には、必ずキャビネットの部分を持って取り扱ってください。ドライバー部分は、触れないようにして下さい。あまり強く力を加えると破損します。

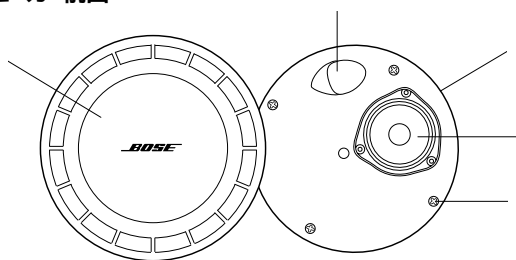
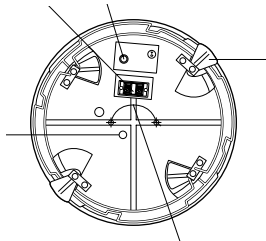
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお近くの販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

〈スピーカー前面〉

〈スピーカー背面〉

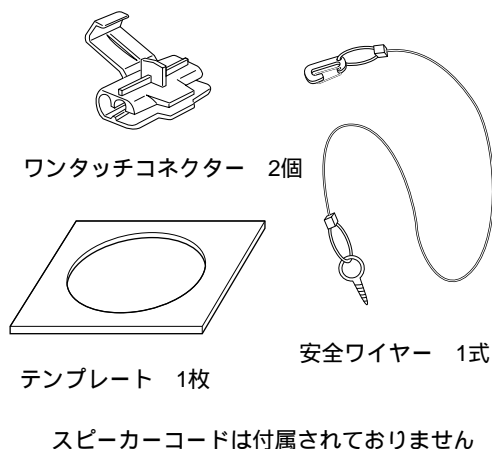
付　属　品

※スピーカーコードは付属されておりません

① グリル
パンチングメタルを使用したスピーカードライバー保護用グリル。

② キャビネット
軽くて丈夫な樹脂性のキャビネットを採用しています。

③ 11.5cmドライバー
ボーズ社の特許のアルミリボン・エッジワイズ巻ボイズコイルを採用し高能率化を計っています。

④ ポート
低域エネルギーを効率よく放出します。

⑤ ストッパー調節ネジ
スピーカー本体を取り付けるときに、このネジをしめ込んでいきます。

⑥ インピーダンス切り換えスイッチ
ロータリー式スイッチで880Ω、1280Ω、2440Ω、5050Ωの4種類のインピーダンスを選ぶことができます。

⑦ 取付金具用埋込ナット
101シリーズ用の取り付け金具を使用するためのM5埋め込みナットを装備しています。

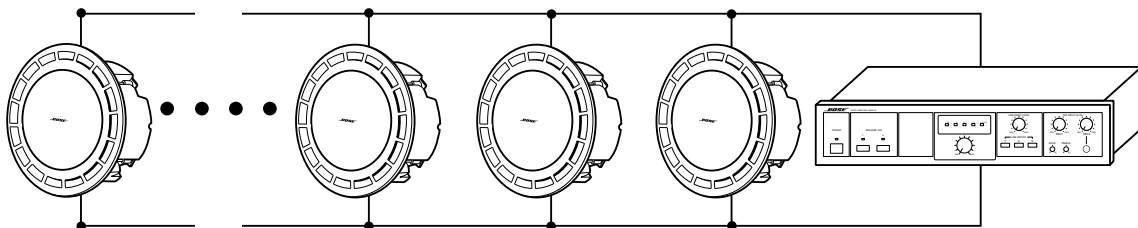
⑧ スナップイン・ターミナル
アンプからのコードを簡単確実にとめることが出来ます。対応コードは、0.5㎟〜1.25㎟です。

⑨ ストッパー
ストッパーとキャビネットで天井板をはさみ込んで固定します。

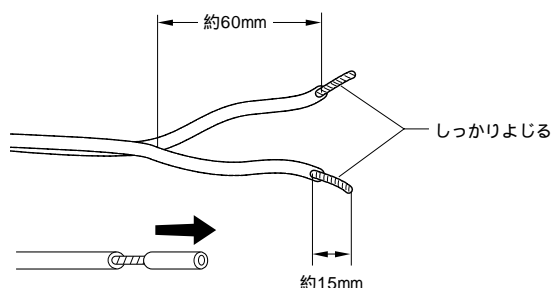
⑩ 安全ワイヤー取付穴
落下防止用ワイヤーのマルカンを取り付けます。

スピーカーコードの接続について

スピーカーのスナップイン・ターミナルとスピーカーコードをつなぎます。

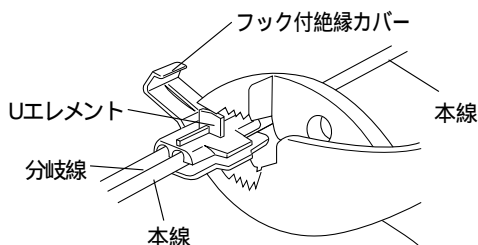
※接続作業は、必ずアンプの電源を切ってから行なってください。

例えば定格出力が90Wのハイ・インピーダンス用のアンプをご使用になった場合、定格出力が90Wですので、111TRのインピーダンスを880Ωにした場合8本並列に接続して使用することができます。接続できるスピーカーの本数は、ご使用になるアンプの出力とスピーカーのインピーダンスによって決まります。アンプの説明書も一緒に良くご覧になって適切な本数でご使用下さい。

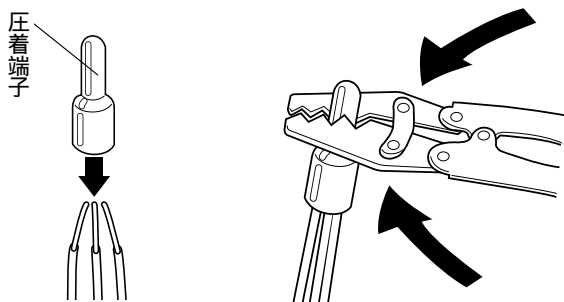
スピーカーコードは、下の図のように先端の被覆をむいておきます。

スピーカーのスナップイン・ターミナルにスピーカーコードを接続する場合、先端を良く束ね、確実にスナップイン・ターミナルにとめてください。

スピーカーコードの結線の方法について

スピーカーコードの結線は確実にはずれないように行ってください。

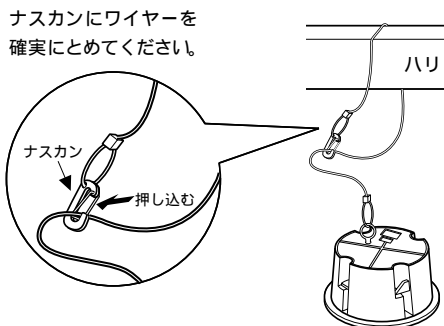
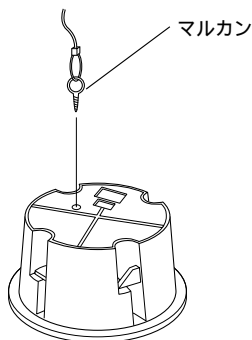
※接続作業は、必ずアンプの電源を切ってから行なってください。

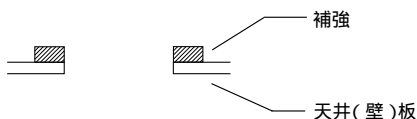
●付属のワンタッチコネクターを使用する場合

①本線をコネクター側面より、はめ込み分岐線は横の差し込み孔より挿入します。
②プライヤーでUエレメントを完全に押し込みます。
③フック付絶縁カバーを倒しロックすれば、作業完了です。

●圧着端子を使用する場合

スピーカー線をまとめて圧着端子をかぶせます。

圧着ペンチでしっかり締付けます。

安全ワイヤーの取付

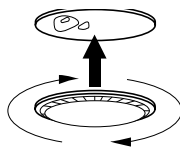
※スピーカーを取り付ける際には、付属の安全ワイヤー(命綱)を必ず下図を参考にして取り付けてください。

①始めにスピーカーの安全ワイヤー取付穴に確実にマルカンのネジ部を取り付けてください。
②.次に天井裏のハリなどに確実に取り付けてください。

取付方法

①天井(壁)板の強度が、スピーカーの重さ(約2.5Kg)に耐えられることを確認してください。強度不足の場合は天井(壁)板内側に補強をしてください。

②天井(壁)に付属のテンプレートを当て、天井(壁)を切り抜きます。(開口径φ244mm)テンプレートはカートン内のスピーカーに当ててあるダンボールを利用します。

③スピーカー本体のストッパーが内側に閉じた状態であることを確認してください。
④スピーカーコードをスピーカーに結線します。この際、極性(+ −)を間違えないように注意してください。

⑤スピーカーコードがはみ出さないようにゆっくりと本体を天井(壁)面まで押上げます。
※付属のワイヤーは、ネジ部分をスピーカーキャビネット底面の取付穴にねじ込み、フック金具部を天井のハリ等にかけて、万一の場合のスピーカー落下防止と共に、取付作業上の仮固定用として使用します(別紙参照)。

⑥スピーカー本体をしっかり天井(壁)面に押付け、フロントキャビネットの4本のストッパー調節ネジを電動ドライバーの + または、ボックスレンチで締付けます。(ネジの回転が止った状態で、ストッパーとキャビネットが天井(壁)板をはさみつけています。)

⑦キャビネット前面にグリルを合わせ、カチッと音がするまで回転させ、固定します。

スピーカーのお手入れについて

グリルの汚れを落とす場合

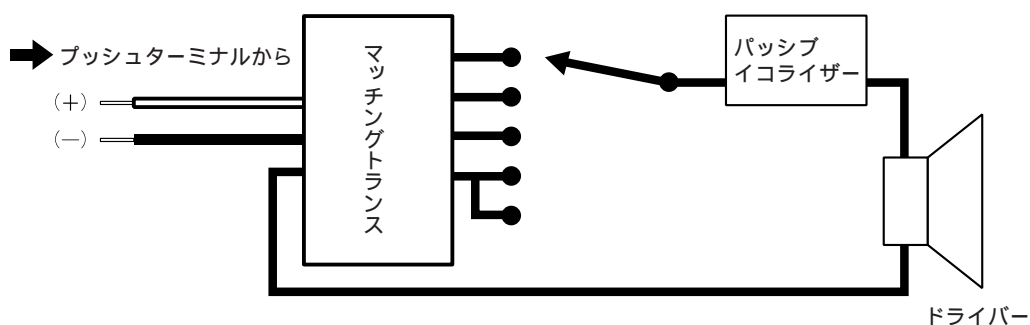
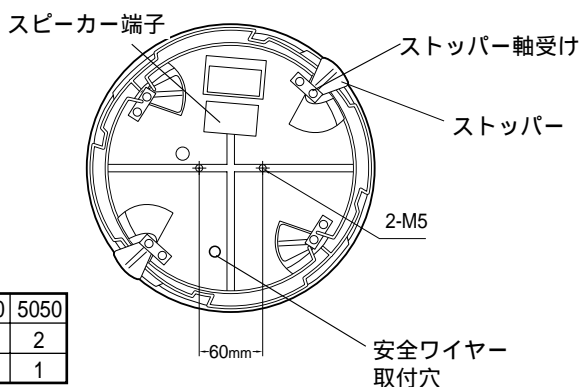
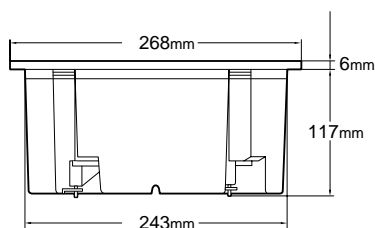
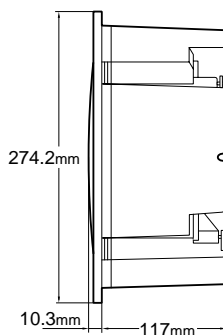
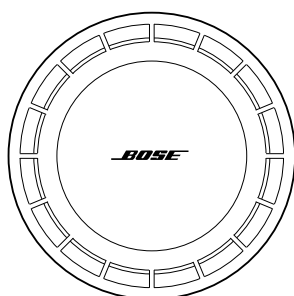
●汚れやホコリは、柔らかい布でから拭きしてください。

●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、堅く絞って拭きとってから、柔らかい布でから拭きしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品はグリルの表面をいためますので、ご使用にならないでください。

内部配線

寸法図

φ274.2mm
10.3mm
117mm
φ268mm
6mm
117mm
φ243mm
スピーカー端子
ストッパー軸受け
ストッパー
2-M5
60mm
安全ワイヤー
取付穴

入力インピーダンス（Ω）	880	1280	2440	5050
100Vライン伝送時（W）	11	8	4	2
70Vライン伝送時（W）	5.5	4	2	1

故障？と思われる時　故障とお考えになる前に

サービスをご依頼になる前にチェックしてみてください。

現　象	原　因	対　策
音が出ない	●アンプの電源プラグがコンセントに差し込まれてない ●ピンジャック及びスピーカーコードの接続が不完全 ●入力切り換えスイッチが正しくセットされていない	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む ●接続を確認する ●正しくセットする

チェックしても現象が改善されない場合はただちにプラグをコンセントから抜いて販売店または、当社にご相談ください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社　☎ 042-357-5250
住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンターまで、ご連絡ください。　☎ 03-5489-0955

仕　様

ユニット構成	11.5cmコーン型フルレンジユニット×1
定格入力	11W（rms）880Ω選択、100V伝送時
入力インピーダンス	880Ω、1280Ω、2440Ω、5050Ω
周波数特性	65Hz～17kHz
出力音圧	88dB（1m/1W）
外形寸法	本体最大外形：φ268×123（D）mm（ストッパー含まず） グリル：φ274.2×10.3（D）mm 開口寸法：φ244mm
質量	2.5kg（１本）
接続端子	スナップイン・ターミナル
付属品	ワンタッチコネクター　2個 安全ワイヤー　1式 テンプレート　1枚

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社
http://www.bose.co.jp/
〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1014
04•12-F-C•1（I-M）